

お客様各位

株式会社セゾン情報システムズ
HULFT 事業部

HULFT Series 製品における Apache Commons FileUpload の脆弱性 (2016-3092) に対する 報告

HULFT Series 製品における Apache Commons FileUpload の脆弱性 (CVE-2016-3092) に対する報告をご案内いたします。

－ 記 －

1. 脆弱性の内容

Apache Commons FileUpload において脆弱性が公表されました (CVE-2016-3092)。細工されたリクエストを処理することで、対象サーバの CPU リソースが枯渇する可能性があります。Apache Commons FileUpload は、Apache が提供する複数の製品に使用されているため、HULFT Series 製品においては以下の Apache 製品が本脆弱性の影響を受ける可能性があります。

Struts 1
Struts 2
Apache Commons FileUpload

〈Apache Commons FileUpload の脆弱性に関する情報〉
<https://jvn.jp/jp/JVN89379547/index.html>

2. 調査状況

上記脆弱性について HULFT Series 製品における影響をご案内いたします。
〈HULFT Series 製品 調査状況 - 2017 年 1 月 30 日 9:00 時点〉

製品名	調査状況
HULFT	影響ありません。
HULFT BB	影響ありません。
HULFT8 Script Option	影響ありません。
HULFT-HUB	影響ありません。
HULFT-DataMagic	影響ありません。
HULFT-クラウド HULFT-WebFT	Struts 2 において影響があります。 以下の条件に該当する場合に影響があります。 ・ HULFT-クラウド Ver. 1.0.0～Ver. 1.6.0 ・ HULFT-WebFT Ver. 2.0.0～Ver. 2.2.0A 上記条件に該当する場合、以下の最新版のバージョンに アップデートしてください。

	・HULFT-クラウド Ver. 1.6.0A ・HULFT-WebFT Ver. 2.2.0B また、Web サーバの設定でHTTP リクエストサイズの大きさを制限（上限 2048byte）することで、本脆弱性の影響を軽減することが可能です。 https://jvn.jp/jp/JVN89379547/index.html「ワークアラウンドを実施する」をご参照ください。）
HULFT-WebConnect	影響ありません。
HDC-EDI Suite	[1] Apache Commons FileUpload において影響があります。 以下の条件に該当する場合に影響があります。 ・HDC-EDI Base Ver. 4.5.0 未満 上記条件に該当する場合に「EDIINT-AS2 相手先証明書アップロード」および「CPA ファイルアップロード」の機能で影響があります。 最新版のバージョン Ver. 4.5.0 にアップデートしてください。 [2] Struts 1 において影響があります。 以下の条件に該当する場合に影響があります。 ・HDC-EDI Manager Ver. 2.0.0～Ver. 2.5.3 上記条件に該当する場合、最新版のバージョン Ver. 2.6.0 にアップデートしてください。 なお、HDC-EDI Manager Ver. 2.6.0 は HDC-EDI Base Ver. 4.2.0 以降に対応するため、アップデートの際には HDC-EDI Base を Ver. 4.2.0 以降にアップデートしていただく必要があります。
iDIVO	影響ありません。
SIGNALert	影響ありません。

【改訂履歴】

2016 年 7 月 13 日	初版作成
2016 年 10 月 6 日	・下記製品の調査状況を更新しました。 HULFT-クラウド HULFT-WebFT HDC-EDI Suite
2017 年 2 月 1 日	・下記製品の調査状況を更新しました。 HDC-EDI Suite

以上